

令和7年度 運動・文化部活動の方針

南牧村立南牧中学校

目標

- 1 部活動の中で、認め合いと協力を深める活動を設定し、生徒の個性伸長を図るとともに集団の一員としての自覚と責任をもてるようにする。
- 2 部長会を機能させ、自主的・自治的な部活動の運営を目指す。
- 3 家庭と顧問間の連携を密にし、生徒が心身ともに健康で安全な生活を送ることを支援する。
- 4 顧問会を開き、部活動運営上の本校の実態及び問題点を明らかにしながら、生徒にとってより良い活動の方向を探る。

本校の運営方針

- 1 水曜日の放課後は活動を行わず休養日とする。
- 2 休日は、土日どちらかで半日の活動を原則とする。また、練習試合や大会等で土日の両日活動する場合は、他の曜日で休養日を確保する。
- 3 平日の活動は、2時間以内とする。
- 4 朝の活動は、通年行わない。
- 5 長期休業中は家庭で過ごす時間を確保するために原則土・日以外の平日に行い、全休業日の半分以下とする。
- 6 8月9日～8月17日を学校リフレッシュウィークとし、部活動は行わない。
- 7 大会等への参加は佐久郡内を目安とし、遠方や泊を伴う参加は原則行わない。
- 8 部活動運営委員会を設置する。年2回の会合を軸に、申し合わせ事項の確認や、本校にとってよりよい部活動の設置や運営について協議する。

学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた取組

- 1 生徒数減少に伴い、部活動運営委員会により部活動の再編成を進め、近隣中学校との合同練習やチーム編成など、小規模校でできる部活動運営について、関係機関と協議を行い、実現しつつある。また、南佐久地域全体で運営方法を協議、確認する機会も設けられている。
- 2 部活動指導員や外部指導者の活用が進んでおり、平日、休日ともに、支援をいただいている。また、令和6年度から美術部を設置し、生徒の選択の幅と共に活動領域が広がっている。
- 3 教職員が地域の指導者という立場で指導にあたるよう、兼職等承認願を作成し、部活動指導員や外部指導者と連携をとりながら、複数人が交代で指導にあたるよう工夫している。
- 4 昨年度に続いて、南佐久地域の学校間で、行事や日課等の調整を行い、平日の活動も進めていく。